

防災・減災への意識の向上（パネル展）・流木の無料配布の 取り組みとドローンによるダムカード写真撮影会を実施

～九頭竜川ダム統合管理事務所～

水源地域の活性化を目的とした活動の一環として、大野市主催の「第38回九頭竜紅葉まつり」が、H29.10.28～29の両日、九頭竜ダム下流の九頭竜国民休養地(福井県大野市角野)で開催され、多くの来場者を迎えての盛大なイベントとなりました。

当事務所では、九頭竜ダム・真名川ダムの概要・効果、伊勢湾台風(昭和34年9月)や奥越豪雨(昭和40年9月)による当時の福井市や大野市内の被害の様子、九頭竜ダム湖環境保全の取り組みなどについてパネルで紹介し、ダムを身近に感じ、ダムの役割や必要性を再認識していただくとともに、防災・減災への意識の向上を図る取り組みを行いました。また、平成30年に管理開始50周年を迎える九頭竜ダムにおいてダムカード写真更新のための撮影会を実施しました。

イベント概要

- ◇日時: 平成29年10月28・29日
午前9時～午後4時
- ◇場所: 福井県大野市角野
(九頭竜ダム下流の九頭竜国民休養地)
- ◇主催: 大野市・九頭竜まつり実行委員会
- ◇参加者: 松島事務所長以下5名



開催式典(来賓者のあいさつ)



パネル内容の閲覧・説明

イベントの様相

あいにくの肌寒い小雨の中、九頭竜紅葉まつりが開催されました。

当事務所ブースでは、過去の災害やダムの効果に関するパネルの説明に興味深く真剣に聞き入る方が多く、近年頻発している風水害への関心が益々高まっていると感じられました。

また、流木の無料配布は例年どおり好評で、生け花や置物に加工するため、子どもからお年寄りまで年代を問わず多くの方が集まりました。



流木の無料配布

参加者の声

- ◇パネル展を見て、ダムの役割や必要性が、分かりやすかった。
- ◇流木の無料配布は、毎年楽しみにしています。
- ◇様々な形の流木があり、面白い。

ダムカード撮影会

九頭竜ダムでは平成30年に管理開始50周年を迎えます。この節目にあたりダムカードの写真を更新するため、ドローンによる写真撮影会を実施しました。

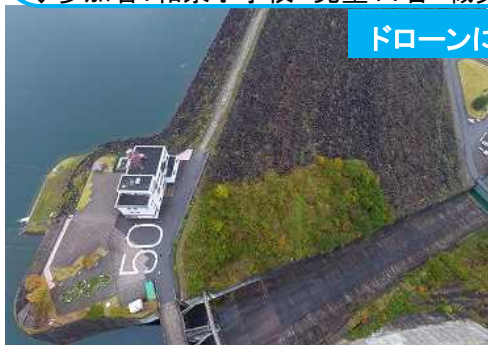
印象的なダムカードとなるよう、地元の和泉小学校の児童・先生に参加して頂きました。

- ◇日時: 平成29年10月28日(土) 午前10時30分から11時30分
- ◇場所: 九頭竜ダム堤頂(大野市長野第33号4番地の1)
- ◇参加者: 和泉小学校 児童14名 職員7名 計24名

児童のコメント

- ◇みんなでドローンに撮られている時、和泉地区に九頭竜ダムがあって良かったと感じた
- ◇ドローンで、並んで50の数字を撮るのが良かった。
- ◇資料館を見学して、九頭竜ダムのことをたくさん知ることができて良かった。

ドローンによる撮影会



【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 福井県大野市中野29-28
TEL (0779) 66-5300 (代)